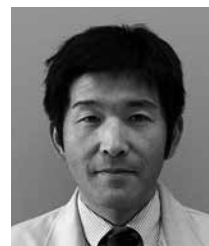


解説 推進工事技士

「循環のみち下水道」の成熟化に向けて ～推進工事技士への期待～

とりい としなり
鳥居 利成

磐田市
産業部産業政策室



1 はじめに

現在、私は企業立地や新規開発構想など、産業に関する政策を主な職務としています。こんな私もかつては、「月刊推進技術」を愛読していた一人であり、公務員技術者としての大半を上下水道部門で過ごしてきました。そして、この間、幸運にも推進工事技士をはじめとし、上級土木技術者（環境）や技術士（上下水道部門/総合技術監理部

門）などの資格を取得してきました。

産業政策と言うと、一見、下水道事業とは無関係に思われがちですが、企業立地に関する相談や開発構想に関する業務ともなれば、私の上下水道部門での経験は業務を遂行する上で大きなアドバンテージとなっています。

2 資格を取得した理由

私は大学で畜産土木工学（現：生物

環境科学）を学んだ後、磐田市役所に入庁しました。そして、下水道事業に携わるようになって数年が経過した入庁7年目の頃、自分は技術者として社会の中でどれくらい通用するのか、また将来、どれくらい活躍できるのか、不安に感じる日々を過ごしていました。

そして、この当時、一緒に仕事をさせてもらっていた人達は、専門的知識や専門的应用能力を身に付けた言わば下水道の「達人」ばかりだったこともあり、私は徐々に彼らに憧れるようになっていきました。そして、自分も技術者として、彼らに近づきたいとの思いから、当時29歳だった私は、「推進工事技士の資格」にチャレンジしたのでした。今から12年前のことです。

3 現在までの活用事例

私は、上下水道部門に在籍させていただいた15年間、計画や設計さらには現場において、さまざまな経験をさせてもらいました。

その中でも下水道7年目に経験した現場（図-1）は、私の技術者人生において大きな財産となっています。この現場は、推進延長が長い上に河川横

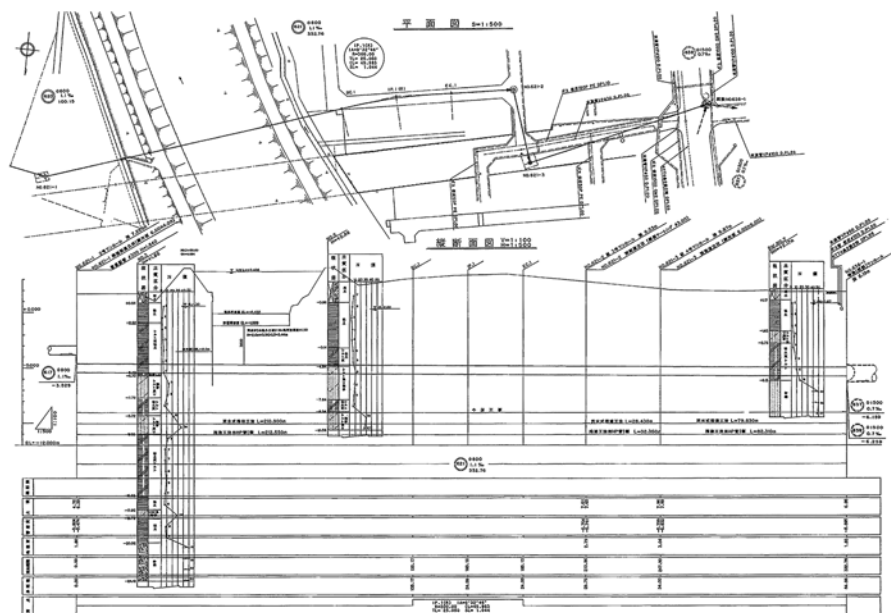


図-1 磐田東部処理系統汚水幹線

断のスパンを含むなど、さまざまなトラブル要因が潜在していました。しかし、発注者および受注者側、双方の推進工事技士が常に推進状況等について、「ホウ・レン・ソウ」を行うと共に、工程会議等を通して情報の共有化を図ったことにより、トラブルの発生を未然に防止することができた印象深い現場です。

私はこの時ほど、発注者・受注者側の双方に有資格者（推進工事技士）の必要性を感じたことはありません。

4 これから受験されるみなさんへ

私自身がそうであったように、初めから推進技術が得意という人は少ないと思います。これを読んでいるあなたが、もし、これに同感するのであれば、ぜひ推進工事技士の資格にチャレンジし

てみて下さい。チャレンジする過程において、間違いなく専門的知識や応用能力が身に付くはずで。そして、合格後はさまざまな経験や継続教育（CPD）を通して、あなたの技術者としての視野は無限に広がっていくことでしょう。

5 推進工事技士への期待

下水道事業を取り巻く環境は、事業費の削減が続く一方、安全・安心についての国民の懸念が拡大し、さらにはダンピングや老朽化による陥没事故が頻発するなど、大変厳しい状況にあります。このような厳しい状況だからこそ、推進工事技士のみなさんには、さらなる技術力の向上や総合的な技術監理能力の向上に努めていただき、プロフェッショナルエンジニアとして、「循環のみ

ち下水道」の成熟化に大いに貢献していただきたいと思います。

6 技術者資格制度の課題と展望

技術者資格制度の課題としては、公共調達における継続教育（CPD）の活用状況の低さが挙げられます。公共工事においては、技術者の最新の知見や技術力が成果の良否に繋がるものであり、入札時点でCPDの有無を評価することは重要なことであります。このことから、今後は学協会におけるさらなる連携強化や効果的な情報発信を行うなど、CPDの活用を高めるための取り組みが不可欠であると私は考えています。そして、この取り組みを推し進めることが、結果的に技術者（資格）の社会的信頼性の向上に繋がると私は信じています。

道路を掘らない技がここにある

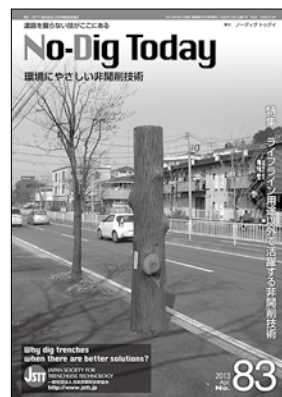
No-Dig Today

季刊 ノーディグ トゥデイ

環境にやさしい非開削技術

電力、ガス、通信、上下水道事業におけるパイプラインの建設、維持管理等に用いる非開削関連技術を中心に真に役立つ情報をNEWS性を重視した見やすい誌面で年4回（季刊）発行。

- 発行：年4回 4、7、10、1月（1日発行）
- 体裁：A4判
- 購読料（税込）：1冊＝1,575円 送料400円
1年（4冊）＝6,300円 送料1,600円



www.kouhounavi.com

登録不要無料でご利用頂けます

非開削工法の普及を目指し
設計をお手伝いする画期的サイト

システムを全面的にリニューアル!!

工法NAVI

非開削技術検索サイト 工法ナビ

JSTT JAPAN SOCIETY FOR
TRENCHLESS TECHNOLOGY

一般社団法人 日本非開削技術協会

●お申し込み・お問い合わせ 〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18（西村ビル3F） 電話 03(5639)9970 FAX 03(5639)9975